

高崎商工会議所 経営発達支援事業  
令和5年度事業評価報告書

開催日時：令和6年6月18日（火）午前10時50分から午前11時40分

場所：高崎商工会議所 議員会議室

出席委員：清水 邦宏（評価委員会委員長 中小企業診断士）  
宇津木 金刀也（同委員 高崎市商工観光部商工振興課長）  
中島 剛（同委員 日本政策金融公庫高崎支店長）  
新井 基之（同委員 群馬県信用保証協会高崎支店長）  
<欠席者なし>

事務局：石綿和夫（専務理事）  
桜井則夫（中小企業相談所長）  
西山和久（経営支援課 課長）  
大熊伸也（経営支援課 課長補佐）  
鈴木淳世（総務課 課長補佐）  
高橋佑太（経営支援課 主任）

内容：令和5年度高崎商工会議所「経営発達支援計画」実績報告評価表（別紙）に基づき、各種事業について説明。質疑応答の後、事業に対する評価を受ける。

事業評価： 令和2年3月に経済産業大臣より認定された、高崎商工会議所「経営発達支援計画」については、第2期計画における4年目を迎えた。まずは、貴所の「経営発達支援計画」に基づいた多岐にわたる経営支援の実施に対して敬意を表する。特に『事業計画策定支援』について、惜しくも目標値には届かなかったが、コロナ禍の影響が残る中、昨年度より実績を大幅に伸ばした点を評価したい。

一方、『経営状況の分析』については、経営分析の件数は目標値を大幅に上回っているが、その結果を事業者へフィードバックし、経営に活かしているかは疑問が残るところである。経営計画や事業計画の策定、さらには事業者の本質的な課題の設定へと繋がるもう一歩踏み込んだ支援となるよう尽力されたい。

また、小規模事業者の販路開拓に寄与するため、『販路開拓・拡大支援事業』として実施した物産展は、様々な趣向を凝らして実施したものと思われるが、出展者数及び売上額が目標に届いていない。開催内容について更なる工夫をするとともに、物産展開催前には個別相談会やセミナーを開催し、出展者の販売技術を向上させるなど、一考の余地がある。

例年実施されている創業支援事業については、創業者数という点においては一定の成果は出ている。しかしながら、創業からの数年間が最も廃業率が高く、支援を必要とする時期である。創業計画策定件数の増加ならびに創業者の輩出も重要ではあるが、事業を軌道に乗せるため、創業後の事業者のフォローアップにも力を入れていただきたい。

物価高騰やエネルギーコストの高騰による収益減少、深刻な人手不足など、小規模事業者を取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況にある。貴所におかれては、多様化する経営課題に対応するため、より一層、指導力の向上に努め、各関係機関・支援機関等と連携を強化し、引き続き各種支援に取り組んでいただきたい。

令和6年 7 月 10 日

評価委員 清水 邦宏

評価委員 宇津木 金刀也

評価委員 中島 剛

評価委員 新井 基之